

### 第3回 (仮称) 市民図書館のあり方検討委員会【議事録】

平成24年6月4日(月) 14:00~16:30

明石市分庁舎5階 教育委員会室

出席委員 : 廣岡会長、小寺副会長、宮本委員、八木委員、高濱委員、大西委員、  
齋藤委員、志磨委員、菊川委員、河井委員、酒井委員、大丸委員

明石市 : (教育委員会事務局) 鈴見次長、阿部課長、合田係長、熊谷主任、  
河野事務職員

(事務局: 青少年教育課)

事務局支援 : (三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社) 3名

傍聴者 : 6名

資料 : 次第

第2回(仮称)市民図書館のあり方検討委員会議事録

資料1 (仮称)市民図書館のあり方検討委員会《中間報告(案)》

資料1の2 第2回(仮称)市民図書館のあり方検討委員会における中間報告  
書(案)に係る主な意見と対応関係表

資料1の3 (仮称)市民図書館(6F部分)のレイアウトイメージ(第2回)

資料1の4 (仮称)市民図書館(6F部分)のレイアウトイメージ(第3回)

資料1の5 新・旧図書館比較

資料1の6 図書館統計データ

資料2 (仮称)市民図書館のあり方検討委員会 中間報告〔概要版〕(案)

資料3 「(仮称)市民図書館」に関するアンケート調査

資料4 図書館にかんするアンケート(小学校用)

資料5 図書館に関するアンケート(中学校用)

#### 【議事・次第】

1. 開会

2. 議事

(1) 第2回(仮称)市民図書館のあり方検討委員会 議事録について

(2) (仮称)市民図書館のあり方検討委員会 中間報告書(案)の検討について

(3) 市民アンケート(案)について

(4) その他

3. 閉会

---

## 1. 開会

- ・市長あいさつ

## 2. 議事

### (1) 第2回（仮称）市民図書館のあり方検討委員会 議事録について

#### 会長

- ・議事録については事前に送付し、ご確認いただいていると思う。新たにお気づきになった点は事務局へご連絡いただきたいと思う。
- ・それでは、早速議事を進めていきたい。事務局より資料の説明をお願いします。

### (2)（仮称）市民図書館のあり方検討委員会 中間報告書（案）の検討について

#### 事務局

【資料1】・【資料2】に基づき、（仮称）市民図書館のあり方検討委員会 中間報告書（案）を説明

#### ① 明石市立図書館の現状と課題について（【資料1】P1～14）

#### 委員

- ・P3 図表Ⅱ-2に現市立図書館のサービスがまとめられているが、まとめ方が分かりにくい。
- ・おはなし会や移動図書館については前回までご提示いただいていたが、ここでは無くなっている。既存のサービスとして説明すべきではないか。

#### 事務局

- ・整理の仕方が不十分であったと思う。再度整理させていただきたい。

#### 委員

- ・P7 図表Ⅱ-5の地図について、子ども図書館（みなくる）の位置がアスピアの南館になっている。実際には北館であるため修正していただきたい。

#### 事務局

- ・修正させていただく。

#### 委員

- ・P13（1）図書館資料について、「明石の特性、歴史の表れた蔵書の充実」は、「明石の歴史、特性がある蔵書の充実」とした方が良いのではないか。

#### 会長

- ・「明石の歴史、文化、産業等に関する蔵書の充実」と修正していただきたいと思う。

#### 副会長

- ・ P10 の松岡享子氏の発言内容については確認されているのか。

#### 事務局

- ・ ご本人にここに記載した文面の確認は行っていない。ここに記載しているものは、当日ご意見をいただいた際、明石市で記録したものを基にしている。改めてご本人に確認を取りたいと思う。

#### 副会長

- ・ 今後も松岡氏にお世話になると思うが、このような報告書にご意見を載せるのであれば、ご本人に内容を確認しておいた方が良い。確認を怠れば、双方にとってマイナスの影響が生じることもある。

#### 会長

- ・ P12 図表Ⅳ－1については、市民図書館として、利用者の関わり方、見せ方の工夫が必要であると考ええる。市民がつくるというニュアンスを加えていただきたい。

#### 委員

- ・ 一般市民の立場から見ても納得がいかないように思える。

#### 会長

- ・ 専門的な立場から見ればこの構成要素・割合が正しいのかも知れないが、市民図書館であるため、利用者も参画出来るような表現としていただきたい。

#### 委員

- ・ P13 の相互貸借運用では兵庫県立図書館との関係が書かれているが、相互貸借は兵庫県立図書館以外にも考えられる。「兵庫県立図書館をはじめとした他図書館との連携」等と表現を修正してほしい。

#### 会長

- ・ 「兵庫県立図書館をはじめとした他図書館との連携」と表現を修正していただければ良いと思う。

### ② (仮称) 市民図書館の基本理念・基本方針について (【資料1】 P15~20)

#### 委員

- ・ P18 「a) 郷土資料室の充実」には、子どもたちに分かりやすい資料の設置を追加してほしい。
- ・ P17 「c) 青少年や子どもたちが本にふれあい、本に親しむ環境の構築」には、子どもたちへ本を紹介する内容を追加してほしい。ただ、本が並んでいるだけではなく本を紹介出来るようになれば良いと思う。

#### 副会長

- ・ 展示コーナーのようなイメージだと思う。

#### 委員

- ・ 青少年や子どもたちが自分のお薦めの本を紹介する、つまり、「参加型」の図書館になればと思う。
- ・ 情報を受け取るだけではなく、自分たちも参加し、情報を発信していくような内容を意図する表現を追加してほしい。

#### 会長

- ・ 後段で記載されているイベントの開催等でこの内容をカバー出来るのであれば良いが、難しければ事務局で表現を検討いただきたいと思う。

#### 委員

- ・ P17「b) 青少年や子どもの育ちをリードする図書館」では、「本を知り、子どもを知る職員の育成・配置」とある。レイアウトに関連してくるのかと思うが、職員が常にカウンターの中に居るのではなく、フロアに出て子どもと一緒に本を楽しむことが出来れば自然と本の紹介等が出来るのではないか。

#### 事務局

- ・ レイアウトについては後ほど詳細に説明させていただく。児童書エリアの中に相談カウンターを設置し、図書館職員が子どもたちに本を紹介したり、展示したり積極的に関わられるように検討を進めている。

#### 委員

- ・ P17「b) 青少年や子どもの育ちをリードする図書館」では、「本を知り、子どもを知る職員の育成・配置」とある。「本を知り、子どもを知る」職員とはどのようなイメージを持たれているのか。
- ・ 新学習指導要領の中でも子どもの読書活動を推進していこうとしている。学校図書館における情報発信や学校図書館と公共図書館の連携、学校教育における図書館の位置付け等を認識されている方を想定されているのか。

#### 事務局

- ・ 「本を知り、子どもを知る」とは、その人自身が本を十分に読んでおり、子ども1人1人に子どもの目線で相応しい本をイメージ出来る、紹介出来ることが重要であると思っている。ある意味では子どもたちに「お節介」だと思われるような職員が必要である。
- ・ 重要なのは学校図書館、公共図書館ともに子供たちの豊かな成長を支えることであり、図書館にはその機能を担うことが求められると思う。

#### 委員

- ・ 学校教育の中で図書館がどのように位置づけられているのか認識していただいている職員を配置していただきたいと思う。

#### 委員

- ・ 公共図書館は、学校図書館等とは違い、個人個人と親しく接することが求められているわけではないと思う。子ども自身が読みたい本やジャンルについて聞いてきた場合に、適切な本を紹介することで十分だと思う。また、カウンターの中からちゃんと子どもたちに話しができれば十分だと思う。
- ・ 一方、学校図書館は、子どもの特性等を十分に認識し、ニーズに細かく応えてあげ、公共図書館を利用するためのステップの場としての役割があると思う。

#### 会長

- ・ 記載している内容については、一般的な表現とせざるを得ないと思う。ただし、事務局は表現に責任を持たなければならない。「本を知り、子どもを知る職員」とはどのような職員なのか、説明できるようにしておかなければならない。

#### 委員

- ・ P20 基本方針⑤は、「つどい」「ふれあい」「いこいの場」となっているが、つどいも、ふれあいも「場」に掛かってくる。「つどい ふれあい いこい」の場と修正してほしい。

#### 会長

- ・ 「つどい ふれあい いこい」の場としていただき、再度体裁を確認したいと思う。

#### 委員

- ・ P18 「a) 郷土資料室の充実」について、子どもに利用してもらうことを踏まえれば、この名称は硬いのではないか。もう少し柔らかい名称を意識して「ふるさと資料室」としてはどうか。

#### 会長

- ・ 名称を分かりやすくすることで子どもたちの受け止め方も変わってくると思う。「ふるさと資料室」と修正していただければと思う。

#### 委員

- ・ P18 に「市民以外」との表現があるが、この表現には違和感がある。「それ以外の人たちにも」とした方が良いのではないか。

#### 会長

- ・ 「市民以外」という表現はきつい様に感じる。事務局で表現を検討していただきたい。

#### 委員

- ・ P20 に「人々が供に」との表現があるが、誤字だと思うので修正していただきたい。

#### 会長

- ・ 基本方針①～⑤は【資料2】のように、実線で囲み、統一的な体裁にしていきたい。そうすることで、基本方針と下の機能・サービスの事例が結びつきやすくなる。

- ・また、絵記号が使われている箇所があるが、単純に「・」か「○」にしていればと思う。
- ・P17の「連携が想定される施設」に「こども健やかひろば」がある。P24図表VI-2を参考に（仮称）市民図書館と「こども健やかひろば」との連携関係を追加していれば相互の関係が分かりやすいと思う。（仮称）イベント広場、（仮称）駅前ワンストップ窓口についても合わせてお願いしたい。
- ・この他、本日ご意見をいただいた箇所について事務局で表現等の検討をお願いしたいと思う。

### ③（仮称）市民図書館の施設レイアウトについて（【資料1】P21～24）

#### 事務局

【資料1】（P21～24）・【資料1の3】・【資料1の4】・【資料1の5】に基づき、施設レイアウトの変更箇所、新・旧図書館の変更点等を説明

#### 委員

- ・みなくるからの提案を配慮いただきありがとうございました。これはたたき台だと思うので皆さんからご意見をいただき、より良いものを作っていければと思う。

#### 委員

- ・研修室と郷土資料室を入れ替えることは可能なのか。

#### 事務局

- ・中央図書館という位置付け、また、研修室の用途、郷土資料室に求められる静寂性等を総合的に踏まえこのようなレイアウト（案）を出させていただいた。郷土資料室についてはより間口を広げ視認性を高める一方、静寂性を確保出来るような造りとしている。
- ・明石の歴史や文化、食等様々な情報について市民の方に広く認識していただきたいものは入口付近に「明石らしさを感じるコーナー」として展示することを想定している。幅広く市民の方に活用いただければと思っている。

#### 委員

- ・窓の位置を教えてください。

#### 事務局

【資料1の4】を基に窓の位置を説明

#### 委員

- ・研修室を提案いただいた位置に配置する場合、使用しない時には太陽の光が図書館内に入るように考慮いただければと思う。

#### 事務局

- ・研修室には壁があるがガラスで囲むことを想定しており、用途によってブラインド等を開閉出来るようにしたいと思っている。

#### 会長

- ・一般図書エリアについてもご意見をいただければと思う。

#### 委員

- ・通路の広さや書架の高さについては車イス利用者等も考慮したユニバーサルデザインとなっているのか。

#### 事務局

- ・書架間の広さについては2.1mを考えている。これは車イスがすれ違い可能な広さである。また、書架の高さについては、場所によりまちまちであるが、児童書エリアについては子どもたちの手が届く高さ、壁面については出来るだけ高いものを配置し、効率的な運用を検討したいと思う。

#### 委員

- ・手が届かないような高さの書架については、ステップ台を設置したり、車イスの方が利用する際にはボタンで職員を呼んだり出来るような仕掛けがあればと思う。ご検討いただきたい。

#### 会長

- ・書架間の広さや高さについては全体のバランスの中で検討いただければと思う。

#### 委員

- ・一般書エリアについてであるが、現在の書架の配置は、入口から見ると奥が遮られる様な形式となっている。何か理由があるのか。

#### 事務局

- ・書架の向き、配置については今後検討していければと思う。今回提示させていただいた案では、図書が光に向かないことを配慮した配置としている。

#### 委員

- ・セルフ貸出・返却やOPACについて、少し入り組んだ配置となっている点、また、貸出・返却を一カ所にまとめることで混み合うことが無いのかという点が気になる。

#### 会長

- ・今は、おおまかなコンセプトとしての位置関係の議論をいただいている。今後、設計段階でそうならないような配慮が必要である。

#### 副会長

- ・児童書エリアについてこれまで熱心に議論いただいているが、平日の利用は高齢者が多く、特に男性の利用者が多い。高齢者の居心地の良さについても検討いただければと思う。
- ・また、北側に児童書エリアを配置するのであれば、駅など建物外からの視認性も考慮して全面ガラス張りとするれば、子どもたちが活動している様子をPRすることも出来る

のではないかと思います。特に、外にいる子どもたちにアピールになる。

#### 事務局

- ・ 全面ガラス張りにするという点については、研修室から喫茶コーナーまでをそのような構造にしようとしていると聞いている。

#### ④ (仮称) 市民図書館を核としたまちづくりについて (【資料1】 P24)

#### 会長

- ・ こども健やかひろばの図書に関するコーナーやイベント広場の図書に関するコーナー等も市民図書館の一角として運営出来れば、駅前再開開発ビル全体で一体感があり、市民の方にも分かりやすいと思う。実際には、管轄が違う点で難しいとは思いますが、例えば、図書に関するコーナーのイメージカラーを統一することで、図書のある場所が直ぐに分かり、一体感が出ると思う。

#### 委員

- ・ 行政に問い合わせをしたとき、管轄が違うということで、不便を感じる時がある。本のコーナーについては、管轄が違うと言わずに、どのフロアで問い合わせをしても、同じ回答が返ってくるような一体的な運用をすることは出来ないか。

#### 会長

- ・ 可能かどうか議論はあるかも知れないが、色々な案を検討いただければと思う。
- ・ P24 図表VI-2の飲食店において、「飲食店来客者図書お届けサービス」とあるが、ここまでのサービスは必要か。

#### 委員

- ・ 飲食店の経営者は、お客さんの回転を求めていると思う。そうした飲食店に対して長時間本を読んでもらうような取り組みが馴染むのか疑問がある。

#### 委員

- ・ 本を紹介するコーナーや電子掲示板等はあってもいいと思うが、店舗で図書館の本を貸し出す必要は無いと思う。
- ・ また、みなくると市民図書館の関係性が問題だと思う。みなくるには子育て支援としての役割があり、図書館とは別の役割がある。図書館でこども健やかひろばと同じような中途半端なサービスを提供するのではなく、図書館とこども健やかひろばで役割を明確に分担した方が良いのではないか。
- ・ 書店との連携についても、同様の問題を感じる。例えば、図書館における新刊本の購入について、書店に配慮する必要はないと思う。

#### 委員

- ・ P24 図表VI-2の3F飲食店において、「店にマッチした本のコーナー設置」とあるが、これは各店舗に図書館の本を置くというイメージなのか。



## 事務局

- ・各店舗への本の設置や来客者へのお届けサービス等は全館図書館プロジェクトの一環として実施する内容をイメージしたものである。今後ご意見をいただきながら検討を進めたい。
- ・各店舗に本を5・6冊置くのは、例えば、明石焼きの店であれば明石焼きに関する本を設置し、少しでも本に興味を示してもらおうとするものである。
- ・ある韓国の島では、各家々に観光客が気軽に本を手にとれる本棚が置いてあったり、ホテルの部屋に本をおいてあったり、気軽に本に触れる機会があると聞いている。こうしたことも踏まえながら、より気軽に身近な場所で本に触れることが出来る環境を再開発ビル全体でイメージしたいと考え、あくまでも一例として書かせて頂いた。

## 会長

- ・中間報告書（案）にイメージ例を書き公表してしまえば、こんなことが出来るんだと誤解を与えかねない。他に3階の飲食店での提案はないか。

## 委員

- ・病院に行くとは病院が独自に集めた本を読める。飲食店も同様に良いのではないか。各店舗に対して図書館がわざわざ貸し出す必要は無いと思う。
- ・各フロアに蔵書コーナーを設置し、そこに各店舗のお薦めの本を置くのであれば理解出来る。

## 委員

- ・同じ意見である。お店が自主的な活動として実施するのであれば理解出来るが、図書館が店舗のお世話をする必要は無いと思う。

## 会長

- ・3Fの飲食店フロアに入る店舗には経営者の方にコンセプトを理解していただき、「店舗にあった図書の設置」といった取り組みを進めていけば良いのではないか。

## 委員

- ・図書館は図書館として文化を発信する尊い存在として活動してほしいと思う。どうしても店舗と図書館を関連付けるのであれば、図書館の本を紹介することが出来るコーナー等を設置した方が良いと思う。

## 会長

- ・図書館全体で情報を発信するためには、3Fでも情報発信が必要となる。ご意見を踏まえて表現を修正していただきたいと思う。
- ・また、図書館とこども健やかひろばのみなくるの機能分担については、本検討委員会から、こども健やかひろばの本のコーナーについて、今後提案できればと思う。

### (3) 市民アンケート（案）について

#### 事務局

【資料3】・【資料4】・【資料5】に基づき、各種アンケート調査の設問等を説明

#### 委員

- ・ P4問5「5. 本、雑誌、資料を探す」は選択肢として必要なのか。

#### 委員

- ・ 読みたい本、興味がある本について借りる目的とは別に「探す」ことも考えられるため選択肢として残しても良いと思う。

#### 委員

- ・ P4問5に気分転換やリフレッシュを意図する選択肢を追加してほしい。

#### 会長

- ・ P4問5に気分転換やリフレッシュを意図する選択肢を追加していただければと思う。
- ・ 問6「1. 図書館がどこにあるのか知らないから」は、「図書館を利用しようと思わないから」とした方が良いと思う。図書館に行こうとすれば、場所は自ずと調べると思う。

#### 委員

- ・ P5問1に自己啓発やビジネス理論等を意図する選択肢を追加してほしい。

#### 会長

- ・ 問1「6. 政治・法律・経済・財政・社会」に入ると思うが、表現が分かりにくいかも知れない。別に選択肢を追加していただければと思う。

#### 委員

- ・ 問1「22. 有料データベース」とあるが、市民の方には有料のサービスと受け止められると思う。無料で利用出来るのであれば、外部データベースやオンラインデータベース等表現を改めたほうが良いと思う。

#### 事務局

- ・ 市民の方に誤解を与えないような表現に修正し、説明書きを追加したいと思う。

#### 委員

- ・ P5問2「4. 貸出・閲覧サービス」は対象範囲が非常に広い。「10. 閲覧席の増加」という選択肢もあり、重複していると思う。また、貸出サービスは貸出冊数や期間に関する内容なのか。
- ・ 「24. 電子出版物の充実」とあるが、問1の充実させてほしい図書・資料にも「21. 電子出版物」とある。これらの関係性についてはどのように考えているのか。

#### 会長

- ・ P5問1と問2の関係性等についても整理が必要だと思う。

#### 事務局

- ・ 問2「4. 貸出・閲覧サービス」については、貸出と閲覧に分けて表現を修正するとともに選択肢の関係について再度整理したいと思う。
- ・ 電子出版物についても表現を分かりやすく修正させていただければと思う。

#### 委員

- ・ P5問2「3. 休館日の縮減」について、常々月曜日以外を休館日にしてほしいと思うことがある。この選択肢を「3. 休館日の縮減・変更」としていただくことは可能なのか。

#### 事務局

- ・ 休館日については再開発ビル全体の問題となってくる。先に今後の課題を説明させていただいたが、図書館と駅前再開発ビル他機関との連携のあり方、管理運営のあり方と併せて検討させていただきたいと思う。

#### 会長

- ・ P5問2「3. 休館日の縮減」については、「3. 休館日の縮減等」との表現で誤解を与えないようにしていただければと思う。

#### 委員

- ・ 2000人を対象としてアンケート調査をするのであれば、P6問3の選択肢にあるユニバーサルデザインやネットワーク等について、日本語にした方がよいのではないか。説明が無ければ分からない方もいらっしゃるのではないか。

#### 会長

- ・ 「1. 蔵書が充実しており、ユニバーサルデザインなど市民誰もが安心して利用しやすい図書館」とあるが、蔵書の充実とユニバーサルデザインは異なる内容だと思う。選択肢の内容、表現について再度検討いただいた方が良いと思う。

#### 副会長

- ・ 回答者のことを考慮すれば、各設問の選択肢が多すぎるように思う。最後まで選択肢を見て回答いただけないのではないか。

#### 会長

- ・ P6問3は、問1・2の内容と重複している内容も多くあるので不要だと思う。ボランティア活動等問1・2に含まれていないものもあり、整理が必要であるが、問3は削除しても良いのではないか。

#### 副会長

- ・ 各設問間の関係性等も見直していただき、再度検討していただいた方が良いと思う。

#### 委員

- ・ 表紙の「ご協力のお願ひ」が長過ぎるのではないか。省略出来る部分も多いと思う。

#### 会長

- ・多くの方は読まないと思う。逆の言い方をすれば、長くても問題無いということである。説明が無ければ回答者に対して粗略な印象を与えてしまう。表紙についてはこのままで良いと思う。

#### 事務局

- ・P5問1・2とP6問3は選択肢の内容や前後の関係性について再度見直しを行いたいと思う。

#### 委員

- ・P6問3「20. AVコーナー」は説明書きが必要だと思う。

#### 委員

- ・【資料4】の小学生アンケートの設問について、「お聞きします」は「聞きます」または「質問します」が良いと思う。

#### 委員

- ・小学生アンケートは何年生を対象と考えているのか。

#### 事務局

- ・小学生は4年生～6年生、中学生は1年生～3年生を対象としている。

#### 委員

- ・【資料3】の「ご協力のお願い」にある16歳以上の2000名には、小・中学生にアンケート調査を実施していることを伝える文面は必要ないのか。

#### 会長

- ・小・中学生には別途アンケートを実施している旨を記載しておかなければ、なぜ16歳以上なのかと思われるのではないかと追加いただければと思う。
- ・P2問3の職業に「無職」が無い。「7. その他」に含めるのか。「無職」という選択肢を追加していただければと思う。

#### 委員

- ・会社員・公務員・団体職員は同じ選択肢に含めていて良いのか。休日等が違うことも考えられるが、集計に問題は無いのか。

#### 会長

- ・休日等に違いはあるが、広義にサラリーマンということでここはそのままにいただければと思う。

#### 副会長

- ・高校生には15歳の人もある点に留意する必要がある。

#### 事務局

- ・実際には生年月日を基に無作為抽出を行うが、表現を追加したいと思う。

#### 委員

- ・【資料4】・【資料5】の設問では、「明石公園内にある図書館」と限定しているが何か理由はあるのか。

#### 事務局

- ・行動範囲の違いからこのような表現としている。

#### 委員

- ・魚住地区の小・中学生であれば、市立図書館本館ではなく西部図書館を利用していることも考えられるのではないか。

#### 事務局

- ・小・中学生向けのアンケートについては、子どもの意見も反映するため実施させていただくことになった。
- ・対象者数は各学年2クラスずつを想定している。ここでは、普段図書館を利用しているのか、どのような目的で利用しているのか、今後の図書館に対する思いを把握出来ればと思っている。したがって、明石公園内にある図書館に限定せずに意見を把握したいと思う。

#### 会長

- ・アンケートについては、期日も迫っており、私の方で事務局と最終的な設問・選択肢を確認させていただければと思う。

### (4) 市民アンケート（案）について

#### 委員

- ・レイアウトについて、次回の委員会で意見を言うことは可能なのか。

#### 事務局

- ・レイアウトについて大まかな部分は8月末までに固めたいと思っている。その後も微修正は可能であるが、大幅な変更となれば早期にご意見をいただきたいと思っている。

#### 委員

- ・学習室を東側の緑化スクリーン側に移設することは出来ないのか。

#### 事務局

- ・学習室を移設すれば全体のレイアウトが変わってくる。このような大規模な変更であれば早期にご意見をいただいております。

#### 会長

- ・可能であれば検討いただきたいと思う。

### 3. 閉会

#### 副会長

- ・ 事務局から挙がってくる報告書等は役所独特の表現等があるが、本委員会では市民の立場から表現等も含めて検討していかなければならないと思う。
- ・ また、検討に当たってはソフト面とハード面の議題が混在してしまっている。検討をする上では切り分けて進めていければと思う。
- ・ 子どもに関する議論が多いが、図書館は高齢者の利用が多い。高齢者の居心地等についてももう少し検討を深められればと思う。

#### 事務局

- ・ 次回の委員会では、本日ご意見をいただいた報告書についてアンケート調査の結果等も踏まえながらご報告させていただければと思う。

#### 会長

- ・ 以上で第3回委員会を終了する。本日はありがとうございました。

以上